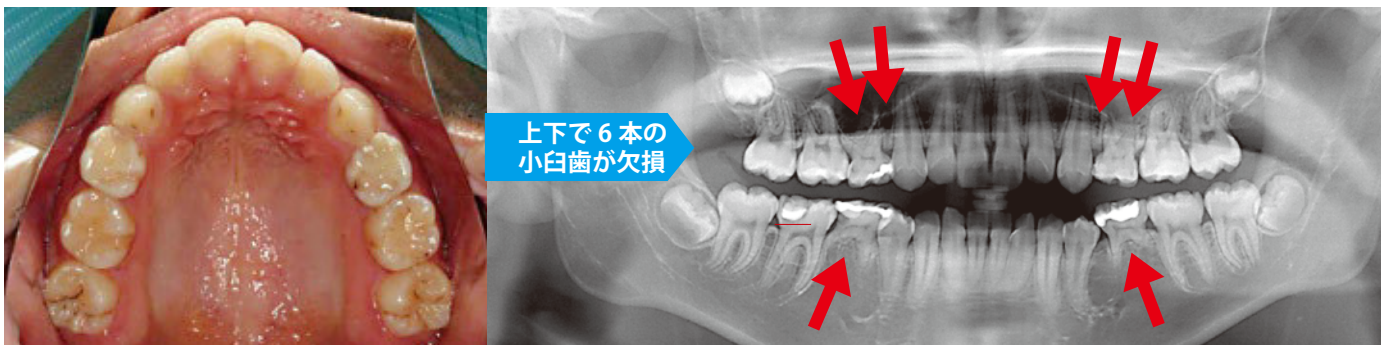


Contents

- 10人に1人の子どもに永久歯の先天性欠如が！
 ～パノラマX線写真で早期発見と長期的な治療計画を～
- 公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会の取り組み
 【矯正歯科治療中の方を対象にした笑顔のフォトコンテスト】

10人に1人の子どもに永久歯の先天性欠如が! ～パノラマX線写真で早期発見と長期的な治療計画を～



永久歯の先天性欠如に関する調査結果によると……

「うちの子、歯が生えてこないんです」。日々患者さんに接していると、誰しも患者さんや保護者の方からこのような相談をされた経験があることでしょう。

写真の患者さんは14歳で上顎に第二大臼歯は萌出しているも、第二乳臼歯が残存しています。そこでパノラマX線写真を撮影したところ、上下で6本の小白歯が欠損していることが分かりました。

日本小児歯科学会が2007年から2008年にかけて行った全国調査「永久歯先天性欠如の発生頻度に関する調査研究」では、歯科を受診した7歳以上の子ども1万5,544人(男子7,502名、女子8,042名)のうち、乳歯の先天性欠如があったのは75人(0.5%)、永久歯の先天性欠如があったのは1,568人(10.1%)となっています。

また、永久歯の先天性欠如は男子(9.1%)より女子(11.0%)がわずかに多く、上顎だけに欠如が認められる場合が2.5%、下顎だけに認められる場合が5.7%、上下顎ともに認められる場合は1.9%。歯の種類別では、第二小白歯と側切歯の欠如が多いという結果が出ています。

まずは7歳までにパノラマX線写真で確認を

公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会では、永久歯の先天性欠如の有無を早期に発見できるよう、過去の研究結果を基に7歳までにパノラマX線写真を撮影することを提唱しています。

先天性欠如が見つかったらどうするか？

永久歯の先天性欠如が見つかったら、乳歯が脱落した後にそのスペースをどうするのかということを治療計画に組み込んでおく必要があります。後継永久歯がない場合、乳歯が20歳以降も残ることもありますので、場合によっては長期的な治療計画を立案することになるでしょう。

例えば、矯正歯科治療で永久歯のない部分のスペースを閉じてしまう、乳歯をできるだけ長く使った後にブリッジやインプラントといった補綴治療を行う、あるいはその両方を行うというようなことが考えられます。

「6歯以上の先天性部分(性)無歯症」が、国の定める先天疾患に

ところで、6本以上の先天性欠如なら矯正歯科治療が保険適用になることをご存知ですか？ 一般的な矯正歯科治療は自費診療ですが、厚生労働省が定めた特定の症状に限って健康保険が適用されます。従来、口唇口蓋裂などの先天性異常と顎変形症のみが健康保険適用の対象でしたが、2012年度から6本以上の先天性欠如歯がある場合、「指定自立支援医療機関(育成・更生医療)」の指定を受けている矯正歯科診療所あるいは病院での治療に限って、健康保険が適用されるようになりました。



裏面では、補綴歯科治療を行うことを前提とした矯正歯科治療を行った症例をご紹介します。

Case study

【補綴前処置として矯正歯科治療を行った6歯の先天性欠如症例】

前歯部の空隙を主訴に来院した14歳男子。上顎右側側切歯と第一小白歯、上下顎左右第二小白歯の計6本が先天的に欠如していました。

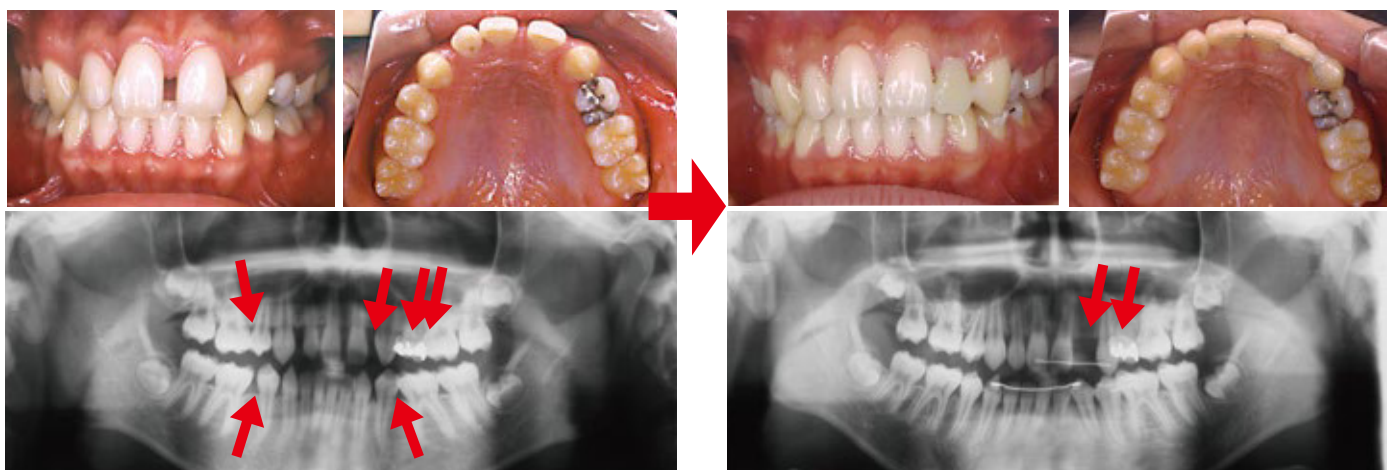
上顎右側側切歯と上顎右側小白歯部には、将来補綴処置を行うことを前提に、晩期残存

していた乳歯をそのまま残し補綴のためのスペースを確保しながら、上下左右の小白歯1本分の欠如スペースを矯正歯科治療で閉鎖、咬合を確立しました。その後発育の終了を確認し、咬み合わせが安定したことを見極めて、24歳で補綴処

置を行いました。

この症例は矯正歯科治療だけでは治療が完了しません。また最初から補綴処置をすることもできません。矯正歯科治療と補綴処置を組み合わせることで、良好な結果を出すことが必要となります。

**先天欠如歯を発見したら
矯正歯科医にもご相談ください**
「指定自立支援医療機関（育成・更生医療）」指定の矯正歯科診療所は日本矯正歯科学会ホームページ
<http://www.jos.gr.jp/facility/>
からご覧いただけます。



初診時(14歳)の口腔内写真とパノラマX線写真
上顎左側は側切歯の他、小白歯が1本も存在せず
第二乳臼歯が晩期残存している。

動的矯正治療終了時(16歳)の口腔内写真とパノラマX線写真
晩期残存していた乳歯を保存し、上顎左側側切歯のスペースを確保し
人工歯を隣接歯に接着している。この状態で保定を開始し
8年後の24歳時に上顎左側第二乳臼歯が脱落したため
側切歯と第二小白歯の補綴処置を行った。

まとめ

永久歯の先天性欠如は7歳までのパノラマX線写真撮影で
早期発見と長期的な治療計画を！

公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会は、こんなことに取り組んでいます 【矯正歯科治療中の方を対象にした笑顔のフォトコンテスト】

本会は、矯正歯科治療中の方を対象とした笑顔のフォトコンテスト「第11回ブレーススマイル コンテスト」を実施しました。

今回は『見て！私の歯、私の笑顔』をテーマに全国の5歳から58歳の幅広い年齢層から402作品もの応募をいただきました。その中から第一次審査、第二次審査を経て最優

秀賞、優秀賞ならびに各賞が選ばれました。

また、平成28年度も第12回ブレーススマイルを開催します。

第11回入賞作品と第12回「ブレーススマイル コンテスト」の詳細は公益法人 日本臨床矯正歯科医会ホームページ (<http://www.jpao.jp/>) をご覧ください。



第11回最優秀賞受賞作品
『夏はやっぱりスイカだね〜』
橋本夏果さん(和歌山県在住)

お近くの日本臨床矯正歯科医会会員を探すには？
<http://www.jpao.jp/>へアクセス！

または